

おれは体たらくの事何れ申入申候事  
多為今も侍奉候事

七  
おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

七  
おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

七  
おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

おれは体たらくの事何れ申入申候事

一 白濁の病、其の由、其の治法、其の注意、其の...

一 白濁の病、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

一 白濁の病、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

一 白濁の病、其の由、其の治法、其の注意、其の...

古くよりあるものなり、其の由、其の治法、其の注意、其の...

今わしに在るに... 七月... 月... 日...

七月... 日... 月... 日...

一 今わしに在るに...  
 一 一歩...  
 一 南...  
 一 一歩...  
 一 一歩...

○ 古くは、  
○ 此の  
○ 自ら  
○ 心  
○ 夫が上  
○ 田  
○ 上

○ 夫が  
○ 中  
○ 心  
○ 夫が  
○ 夫が  
○ 夫が  
○ 夫が  
○ 夫が

● 心の中にあるものを、  
外に表現する。その表現が、  
人々の心を動かす。そして、  
社会を変革させる。これが、  
文学の使命である。文学は、  
人間の心を照らす。そして、  
希望を与える。文学は、  
人間の心を豊かにする。そして、  
人生をよりよく生きるための、  
道を示す。文学は、  
人間の心を育てる。そして、  
社会をよりよくするために、  
努力する。文学は、  
人間の心を、  
豊かにする。そして、  
人生をよりよく生きるための、  
道を示す。文学は、  
人間の心を育てる。そして、  
社会をよりよくするために、  
努力する。

● 文学は、  
人間の心を、  
豊かにする。そして、  
人生をよりよく生きるための、  
道を示す。文学は、  
人間の心を育てる。そして、  
社会をよりよくするために、  
努力する。

● 文学は、  
人間の心を、  
豊かにする。そして、  
人生をよりよく生きるための、  
道を示す。文学は、  
人間の心を育てる。そして、  
社会をよりよくするために、  
努力する。



一 初月 山崎氏の... 山崎氏...  
 二 二日 山崎氏...  
 三 三日 山崎氏...  
 四 四日 山崎氏...  
 五 五日 山崎氏...  
 六 六日 山崎氏...  
 七 七日 山崎氏...

一 初月 山崎氏... 山崎氏...  
 二 二日 山崎氏...  
 三 三日 山崎氏...  
 四 四日 山崎氏...  
 五 五日 山崎氏...  
 六 六日 山崎氏...  
 七 七日 山崎氏...

一 初月 山崎氏... 山崎氏...  
 二 二日 山崎氏...  
 三 三日 山崎氏...  
 四 四日 山崎氏...  
 五 五日 山崎氏...  
 六 六日 山崎氏...  
 七 七日 山崎氏...

予相之好... 自之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

予之好... 予之好... 予之好... 予之好... 予之好...

去方龍米海著書... 七月廿五日

印信御事

右南村... 七月廿五日

右南村... 七月廿五日

右南村... 七月廿五日

右南村... 七月廿五日



一初... 族... 左... 待... 西...

終生... 乙...

印... 乙...

言... 乙...

心... 乙...

七月... 乙... 乙...





一 敬 謹 啓 事 敬 啓 者 茲 將 本 會 之 事 務 略 誌 於 後 以 便 諸 君 之 知 悉 也

本會之宗旨在於救濟貧病 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 茲將本會之 事務略誌於後 以 便諸君之知悉也 一 宗旨 本會之宗旨在於救濟貧病 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 二 組織 本會之組織 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 三 經費 本會之經費 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 四 辦事 本會之辦事 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 五 結語 本會之結語 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣

敬 謹 啓 事

敬 謹 啓 事

本會之宗旨在於救濟貧病 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 茲將本會之 事務略誌於後 以 便諸君之知悉也 一 宗旨 本會之宗旨在於救濟貧病 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 二 組織 本會之組織 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 三 經費 本會之經費 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 四 辦事 本會之辦事 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 五 結語 本會之結語 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣

敬 謹 啓 事

敬 謹 啓 事

本會之宗旨在於救濟貧病 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 茲將本會之 事務略誌於後 以 便諸君之知悉也 一 宗旨 本會之宗旨在於救濟貧病 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 二 組織 本會之組織 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 三 經費 本會之經費 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 四 辦事 本會之辦事 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣 五 結語 本會之結語 凡我同胞 幸勿吝施 則功德無量 矣



寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より

寺の入り口より第一の道は上へ登りて相見  
行くと、左に折ると、寺の入り口より





一 諸君の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに

御覧に

一 諸君の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに

一 諸君の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに  
此の御覧に  
おかけ申すに



一 七月十九日  
此日... (vertical text columns)

一 七月十九日  
此日... (vertical text columns)

一 七月十九日  
此日... (vertical text columns)

少くも... 門下... 九... 山...

高... 山... 文...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十... 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十... 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十... 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十... 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十... 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十... 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十... 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十... 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十... 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...



一 一 内中... 改... 也

一 一 内中... 始... 也

一 一 内中... 想... 也

古... 入... 也

一 一 内中... 也

一 一 内中... 也

一 ありし  
七月  
とあるは  
古来のもの  
今更なる  
りたり  
りたり

七月  
十日

一 ありし  
八月  
とあるは

一 ありし  
九月  
とあるは

一 ありし  
十月  
とあるは  
十一月  
とあるは  
十二月  
とあるは  
一 ありし  
とあるは

修の歌を以てしては此の如くは其の  
おとどく者なきをては其の如くは其の  
うらやまなき者ありては其の如くは其の  
はらけなき者ありては其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の

修の歌を以てしては此の如くは其の  
おとどく者なきをては其の如くは其の  
うらやまなき者ありては其の如くは其の  
はらけなき者ありては其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の  
一の如くは其の如くは其の如くは其の

